松戸市教育委員会会議録

令和6年10月定例会

令和6年10月定例教育委員会会議次第

1 日 時 令和6年10月9日(水) 午前10時より

2 場 所 教育委員会5階会議室

3 議 題
議 案

4 その他

令和6年10月定例教育委員会会議 議題目次

(1) 議案

① 議案第25号

令和6年度末及び令和7年度松戸市立高等学校職員人事異動方針
並びに令和6年度末及び令和7年度松戸市立高等学校職員人事異動
実施方策の制定について (学務課)

② 議案第26号

契約の変更について (学校施設課)

③ 議案第27号

動産の購入について (学校財務課)

松戸市教育委員会会議録

令和6年10月定例会

開 会	令和6年10月8日(水) 午前10時	閉 会	令和6年10月8日(水) 午前11時09分	
署名委員	教育長 波田 寿一	委 員	武田 司	
出席委員 氏 名	教育長 波田 寿一	○	委 員 山形 照恵	○
	教育長職務代理者 武田 司	○	委 員 中西 茂	○
	委 員 伊藤 誠	○	委 員 和座 一弘	○
出席職員	内訳別紙のとおり			

提出議案	内訳別紙のとおり
特記事項	

教育委員会事務局出席職員一覧表

令和6年10月定例教育委員会

No.	部課名 及び 職制名	氏 名	No.	部課名 及び職制名	氏 名
1	生涯学習部 部長	井之浦 太郎	21	文化財保存活用課 主事	小川 玲美子
2	学校教育部 部長	中坂 正夫	22		
3	生涯学習部 審議監	小林 清	23		
4	学校教育部 審議監	町山 信之	24		
5	教育総務課 課長	三根 秀洋	25		
6	〃 専門監	斉藤 政彦	26		
7	〃 主査	吉川 紘司	27		
8	〃 主任主事	生田 裕仁	28		
9	学務課 課長	西田 大助	29		
10	〃 補佐	波多江 美奈子	30		
11	学校施設課 課長	久保田 昭彦	31		
12	〃 補佐	栗山 誠	32		
13	〃 主査	藤井 大介	33		
14	〃 主査	阿部 剛	34		
15	学校財務課 課長	大場 慶育	35		
16	〃 学校給食担当室 室長	飯澤 信幸	36		
17	〃 学校給食担当室 主査	田中 秋衣	37		
18	〃 学校給食担当室 主査	新井 淳一	38		
19	〃 学校給食担当室 主任主事	内藤 大貴	39		
20	文化財保存活用課 補佐	豊島 周一	40		

令和6年10月定例教育委員会会議次第

1 日 時 令和6年10月9日(水) 午前10時より

2 場 所 教育委員会5階会議室

3 議 題
議 案

4 その他

令和6年10月定例教育委員会会議 議題目次

(1) 議案

① 議案第25号

令和6年度末及び令和7年度松戸市立高等学校職員人事異動方針
並びに令和6年度末及び令和7年度松戸市立高等学校職員人事異動
実施方策の制定について (学務課)

② 議案第26号

契約の変更について (学校施設課)

③ 議案第27号

動産の購入について (学校財務課)

教育長 初めに傍聴についてご報告いたします。

本日の教育委員会会議に、現在のところ2名の方から傍聴したい旨の申出があります。松戸市教育委員会傍聴人規則に基づき、これをお認めいたしますので、ご了承願います。

なお、これ以降、傍聴の申出がある場合は、事務局への受付をもって許可に代えることといたします。

それでは、傍聴人を入場させてください。

(傍聴人入室)

◎報告

教育長 それでは会議に先立ちまして、1点ご報告申し上げます。

本日、中西委員が所要により到着が遅れております。しかし、教育長及び委員の過半数が出席しておりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定によりまして、本会議は開会することができます。中西委員には到着次第、審議に参加していただくこととなります。

◎開 会

教育長 ただいまより令和6年10月定例教育委員会会議を開催いたします。

◎会議録署名委員の指名

教育長 開会に当たり、本日の会議録署名人を武田委員にお願いいたします。

◎報告

教育長 議題に入ります前にご報告がございます。

このたび山形照恵委員が任期満了を迎えられましたが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、議会の同意を得、10月8日付にて市長より任命をお受けになり、再任されました。任期は令和10年10月7日までの4年間でございます。

それでは、山形委員より一言ご挨拶をお願いいたします。

山形委員 ありがとうございます。

教育委員 3 期目を拝命いただき、大変光栄に思っております。ありがとうございます。

変わらず子育て支援に従事しておりますが、子育て環境はますます厳しくなる一方、育児休業の取得なども見られ、父親の参加も増える形もあり、少しずつ子育てに関することも変わりつつあります。時代の流れ、多様性、どちらもどんどん変わっていく中で、普遍的に変わらない、人が人を育てるということ、言葉の力や優しさというものを大切に、松戸でこれからも子育て支援含め、活動していこうと思います。

これからたくさんの保護者の方に話を聞く機会が、私はあると思いますので、その中でも、リアルな声を聞きながらそれを生かし、子どもも大人も、どちらもが幸せな日々が過ごせるような、ウェルビーイングを軸としたスタンスで委員の役目を果たしていきたいと思います。今後もよろしくをお願いいたします。

教育長 ありがとうございました。

では、中西委員、到着されましたので、この後、審議に加わっていただきます。

ここで、議席の指定を行います。

松戸市教育委員会会議規則第 7 条の規定により、ただいま着席していただいている席を議席と指定いたします。ご承知おきください。

◎議案の提出

教育長 それでは、日程に従いまして議事を進めます。

本日の議題は、議案 3 件となっております。

では、ここからの議事進行は、武田教育長職務代理者をお願いいたします。

◎議案第 25 号

教育長職務代理者 それでは、日程に従いまして、議事を進めさせていただきます。

初めに、議案第 25 号「令和 6 年度末及び令和 7 年度松戸市立高等学校職員人事異動方針並びに令和 6 年度末及び令和 7 年度松戸市立高等学校職員人事異動実施方策の制定について」を議題といたします。

それでは、ご説明お願いいたします。

学務課長、お願いします。

学務課長 学務課長の西田です。よろしくをお願いいたします。

議案第25号「令和6年度末及び令和7年度松戸市立高等学校職員人事異動方針並びに令和6年度末及び令和7年度松戸市立高等学校職員人事異動実施方策の制定について」ご説明いたします。

本件は、千葉県教育委員会制定の人事異動方針並びに人事異動実施細目を受けて松戸市立高等学校の人事異動方針実施方策を制定するものとなっております。

人事異動方針につきましては、過日、県の人事異動方針が示されましたので、それに準じて作成をしております。

県教委の人事異動実施方策については、県の人事異動実施細目、こちらがまだ示されておられませんので、例年と同様、昨年度制定されたものに準じて制定をいたしました。

例年、県の人事異動実施細目は10月中旬頃に示されており、それを待つて本市の実施方策を制定いたしますと、11月初旬の高校職員の異動希望調査票提出に日程的な余裕がなくなるため、今年もこの10月の教育委員会会議に提案をさせていただいております。

昨年度からの改正点と理由についてご説明いたします。

お手元の資料6ページの新旧対照表をご覧ください。

まず、人事異動方針の昨年度からの改正点は、年度表記のみで内容的な改正はございません。県の人事異動方針に変更がなかったためでございます。

資料の次ページ、人事異動実施方策ですが、年度の改正と第2、職種別の異動方策の1、校長・教頭の（1）配置及び異動についての表現を改めました。これは県の人事異動細目の該当部分に変更があったため県に準じた表現としたためでございます。

以上、松戸市立高等学校の人事異動方針並びに人事異動実施方策についての説明といたします。

ご審議よろしくをお願いいたします。

教育長職務代理者 議案第25号については、ただいまの説明のとおりです。

これより質疑及び討論に入ります。

中西委員。

中西委員 中西です。すみません、遅刻して申し訳ありません。

5ページの下の方ですけども、（5）で、「小学校及び中学校との人事交流を推進する」

というのがありまして、これ、昨年もお聞きしたような記憶があるんですが、たしか小学校は実績がないのでしたっけ。

教育長職務代理人 学務課長。

学務課長 今年度は、小学校から異動している職員はおりませんが、過去には例がございます。そんなに多くはないですけど。

中西委員 過去にはあるわけですね。はい、分かりました。

教育長職務代理人 和座委員。

和座委員 3ページですけども、女性に対しての登用の部分はより一層、これからも必要だと思いますけれども、実際のところ、この管理職のパーセンテージというのはどのぐらいで、最初のデータはどのぐらいで、そしてそれを比較して、他の教育委員会も含めて様々なところとの比較から考えて、どのように評価しているのか教えていただければと思いますが。

教育長職務代理人 学務課長、お願いします。

学務課長 松戸市の学校の現状という形でご説明をさせていただきます。

まず、管理職について言えば、校長の割合が、女性ですね、32%、教頭は18%となっております。一番多いのは教諭なんですけど、小学校の教諭は約68%、中学校の教諭は約47%となっているので、全体的に見ると管理職の女性の割合は少ない形にはなっているのかなと思います。

あと、教頭の割合が低いんですけど、これは今、校長の平均年齢が58歳、教頭の平均年齢が47歳となっております。校長の平均年齢は今、再任用校長とか特例任用校長が結構おまして、比較的年齢が上がっております。

中学校のほうは、今、再任用でやっている者は1名だけでございますので、そういうこともあって、教頭の平均年齢と校長の平均年齢は、かなり差がある状況でございます。

教頭の中には、実際、子育て奮闘中のような世代も結構おまして、そうなるくなかなかその教頭に、適齢期の女性職員もなかなか忙しくというようなところが、教頭の女性職員の割合が低くなっている理由なのかなと考えております。

以上です。

和座委員 ありがとうございます。

教諭のパーセンテージが小学校68%、中学校47%に対して、やはり管理職に関して言うと、今言った教頭なんかは特に少ないようですけども、それについては子育てのことというふうなこと、言われてますけれども、やっぱり全体的に見てもっと多くなってもいいような気

がするんですけども、その場合の阻害因子としてはどういうふうに捉えられていて、今後どういうふうなことが必要だとお考えですか。

教育長職務代理者 学務課長、お願いします。

学務課長 ありがとうございます。

女性の活躍の場を広げていくというのは、当然それは必要な視点でもあるかと思います。

県の第5次男女共同参画基本方針というものがあるようで、2024年度は目標値が、校長が20%、副校長・教頭は25%となっているということで、こちら県の方針としても女性管理職登用というのが目標になってるのかなと思います。

今、働き方改革というようなことがいろいろ言われていますが、そういったことを取り組んでいく中で、女性もそういった管理職等々に就きやすい環境というものを進めていく必要はあるのかなというふうに、働き方改革全体として、そういう環境を構築していくというのは必要なかなと思っています。

あと、これは別に調査したというわけではないんですけど、私も元、現場にいた中で、女性職員への、これ割合の問題ですけど、例えば小学校であれば、先ほど申したように、女性の職員が多いわけです。当然、優秀な職員も大勢います。そういった職員にいろいろな進んでいく道があるんだということは、各学校の管理職のほうは声掛けをしながら人材の発掘に努めていると認識しております。

以上です。

和座委員 ありがとうございました。

教育長職務代理者 中西委員。

中西委員 今の数字をお聞きしてて、県では教頭の目標25%で、校長より高いということですよ。それで、松戸市の場合は教頭の割合が低いということになると、理屈として、それが子育て云々という話にはならないような気はするんですけど、何か事情がほかにあるのかもしれないなと思って。

そう考えると、そこを何かもう少し補足、働き方を変えていかないと数字が上がらない気もしますし、教頭先生が経験して校長先生になるのが一般的だと思いますから、校長になる女性も先細りしていつてしまいますし、もっと下の世代もロールモデルがないとなかなか大変だと思いますので、そここのところの問題意識はもう一度伺っておきたい気がしますが、いかがですか。

教育長職務代理者 学務課長、お願いします。

学務課長 ありがとうございます。

今、先ほどから働き方改革ということを私、何度か申し上げているんですが、一番学校の中で忙しい職種だと言われているのが副校長・教頭の職になります。

今、詳しいデータはここにはないんですけど、時間外在校等時間については、副校長・教頭が一番多いということになっております。まず、その部分を何とかしていかないと、男性・女性に限らず、教頭・副校長職を志願する者が増えていかないというのがあるので、その部分については県教委のほうも、私どもも考えるし、県教委のほうも、今年1校にしか配置されてないんですが、副校長・教頭マネジメント支援員ということで、加配の職員を松戸市も配置いただいております。

そういった副校長・教頭の業務を削減していく、働きやすくしていくという方策は、引き続き市と県、一緒に考えていかなければいけないのかなと思います。

あと、私が申した年齢云々ということについては、今の教職員の人数構成ですとか、そういった部分から出てくるものだと考えますので、現状はそう。ただ、中西委員もおっしゃったように、その教頭・副校長が働きやすい、志願する人間が多くなるような形を整えていかなければいけないということは、喫緊の課題なのかなと捉えております。

以上です。

教育長職務代理人 よろしいですか。

中西委員 追加で伺いたいんですが、その管理職の支援員というのは、たしかこれ、国も予算化しているはずだと思いますが、1人だけですか。

教育長職務代理人 学務課長、お願いします。

学務課長 私たちがいる松戸市は、東葛管内といって鎌ケ谷、野田、柏、流山、我孫子、松戸の6市を東葛飾教育事務所が管轄してやっております。東葛飾教育事務所のほうから配置していくというか。これは、松戸は1人ですけど、他市にもそんなにいっぱいいないのかなと認識をしております。まだ事業が始まったばかりなので、恐らくそんなにたくさんの支援をつける予算はないのかなと推察しております。

以上です。

中西委員 来年度予算を増やすという、国の予算をです、増やすという話があるので、ぜひ獲得できるようにしていただければと思います。

教育長職務代理人 和座委員。

和座委員 先ほど平均年齢の話が出たんですけども、一般的なこの異動方策の中に、経歴と

か年齢等にとらわれることなく、5ページですけどね、校長とか教頭のところの(2)ですけども、「経歴・年齢等にとらわれることなく、管理、指導及び人格・見識に優れ、資質に富む有為な人材の登用に努める」と書いてありますね。

58才というと、定年まであと二、三年というところですよ。これはどんな職種でも言えることですけども、我々の業界でも同じですけども、高齢化ということがやっぱり1つ大きな問題になって、やっぱりある程度、年齢行きますと、どうしても考え方が硬直化してきて保守的になるという傾向があります。

そういう中で、例えば非常にこういった意味で能力があり、様々なことについて積極的な若い人材を、そういった、校長とか教頭とかそういったところに登用するというシステムが何かあるのでしょうか。それとも、やっぱりある程度の年代をした上じゃないと、なかなか校長というのは難しいのでしょうか。

ちょっと非常に初歩的な質問で申し訳ないんですけど。

教育長職務代理人 学務課長。

学務課長 ありがとうございます。

すみません、私のほうから何と申し上げていいか難しいところもあるんですけど、仕組みとしては、これは学校の教員の、いわゆる管理職、校長・教頭については選考を経て行うというふうになっております。

その選考を実施するのは、県の教育委員会になるので、もちろん受験する、こうじゃなきゃいけませんよという決まりはありますが、その、その決まりの中でいろいろ志望してくる人に対して、じゃあ県がどういった年齢層の方を選ぶかとか、やはりいろいろ、例えば校長となると、やはり経験というのはかなり必要な部分はあるのかなというふうに、恐らく県教委も考えてるのかなと思う面もございますので。推測になってしまうのですが、多分、総合的に勘案して、今の状況になっていたと思います。

和座委員 ありがとうございます。

実際のところ、一番若い先生というのは、校長とか教頭って何歳ぐらいですか。

教育長職務代理人 どうぞ、続けて。

学務課長 今、51歳ですかね、年度末で51歳になる方が一番若い者でございます。

和座委員 校長先生になられてる方がですね。

学務課長 はい。

和座委員 どうもありがとうございます。

学務課長 教頭は40歳です。

和座委員 はい、ありがとうございます。

教育長職務代理人 教育長、お願いします。

教育長 考え方ですけど、教員の採用というのは、全ての年代がフラットに、全て同じ人数が採用されているわけではなくて、そのときそのときによって大きな山があります。ですので、管理職についても、一定時期には平均年齢が非常に高いような時期があり、逆に言うと一定の時期になると、もっと平均年齢がぐっと下がってしまうような時期があります。そうすると、経験値不足なところで課題が出てくるとか、今、年齢が高ければ違った、また課題が出てくるとか、きっとそういうような要因があります。

ただ、やはり方向としては、1つの学校をしっかりと任せられるような人材をとというのが基本的な考え方ですので、間違いなく経験値も含めて、私たちもそういった人材を育成していかなくちゃいけない。教育委員会の、それは立場だと思うんですね。

やはり、全国的に見て、松戸市だけではなく、教育委員会の教員育成という部分について、もしかしたらもう少し踏み込んで、いろんな議論をこれから、まあ県教委が一番やらなくちゃいけないことですが、していかなくちゃいけない時代にこれから入っていくのかなと。それが、多分その女性のこともそうです。

今回は市立松戸高校の案件でございますけれども、今それぞれの委員の皆さんがご心配してくださっているように、小中学校も含めて、こういった学校教育全般についての1つの課題なのかなと私も認識しています。ぜひまた、いろいろご意見いただければと思います。

以上です。

教育長職務代理人 学務課長。

学務課長 訂正だけ、お願いいたします。

すみません、先ほどの校長の一番低い年齢ですけど、50歳でございます、年度末年齢50歳、訂正させていただきます。

和座委員 ありがとうございます。

教育長職務代理人 伊藤委員。

伊藤委員 それとの関連ですが、校長や教頭になるのに、よくいろんな職種であると思うんですけども、何歳以上でなければならないとか、何年以上の教員経験がなければいけないとか、そういう条件というのはあるのでしょうか。

教育長職務代理人 学務課長。

学務課長 選考試験の実施要項というものがございまして、そこには記載があります。ただ詳細については公表できないものかもしれないです。

伊藤委員 もしあれば、何歳以上とか、何かそういう具体的な数字は。

学務課長 例えば教頭だと、学校での教育現場での経験が10年以上であるとか。

伊藤委員 10年以上。

学務課長 はい、例えばですね。校長の要件だと、例えば管理職で何年とか、あと、ただ校長の場合、副校長・教頭もそうですけど、学校の経験がなくてもなることができるというのは、例えば教育に関係あるところで3年以上勤務しているとか、いろんな条件があります。

伊藤委員 そうすると、私立は別として、公立の小中高については、外部から全く異業種の人を教頭とか校長にするということにはできないんですね。

教育長職務代理者 学務課長。

学務課長 それはできます。

伊藤委員 ああ、それは何ですか。

学務課長 それができるための要件が、先ほど申し上げた。例えば教育に関する現場に全く経験がない方はできません。

伊藤委員 ああ、やっぱり駄目なんですね。

学務課長 はい。ただ、例えばその、塾だとか、まああと何というかな、教育に関係がある通信教育を手掛ける会社だとか、そういう業界で勤務してる方だと、選考を受けてなれる可能性もあるし、実際なっている方もいるかと思います。

伊藤委員 分かりました。

教育長 いいですか、付け加えて。

結局その管理職選考については、各自治体によって全く方法が違います。だから全国一律で、例えば文部科学省がこういう方策でやりなさいということを決めているわけではなく、その年齢のこともそうですし、経験値のこともそうですし、選考方法についても、例えば論文を課すとか面接を課すとか、いろいろな違いがあります。ですので、千葉県は千葉県の方針に従ってやっていて、公開できる部分と公開できない部分がきっとあるということだと思いますので。なかなか、難しい。

伊藤委員 一律には難しいということですかね。分かりました。

教育長 例えば東京都などは、先行して副校長の制度をいち早く設けていますし、再任用校長の制度もかなり早い段階からつくっていますけれども、同じような足並みで全ての都道府県

が行っているというわけではないので、その辺で微妙なところもあります。

伊藤委員 微妙なんですね。

中西委員 まあ、全国的に見れば民間出身の校長もいるわけで。

教育長 そうです、たくさんいらっしゃいます。

中西委員 民間企業の経験者も。

教育長 そうですね。外国人の校長先生も、茨城県かな。

教育長職務代理者 あ、いらっしゃいますね。

教育長 土浦第一高等学校、中学校の校長先生はインドの方ですよ。

伊藤委員 はい、分かりました。

教育長職務代理者 先ほど教えていただいたというか、我々も文科省の研修でマネジメントに関わる方を予算づけしていただいているということは伝え聞いておりますが、ぜひその結果を、本市はではどうなのか気になっていたと思いますので、どんな形で有効的だったのかとか、今後どういうふうにしていきたいみたいなものが出てきましたら、ぜひご報告いただければありがたいと思います。

学務課長 分かりました。

教育長職務代理者 以上、よろしいでしょうか。

伊藤委員。

伊藤委員 7ページの、今回の変更の部分ですが、県の方針なんではっきりとしたことはなかなか言いにくいと思うんですが、この書き方変わった点以外に、何かその、校長と教頭について何か別になったような感じで、校長については勤務が3年以上となるようにということなんですが、教頭については、1年以内は駄目だけど、例えば必ずしも3年にこだわらなくてもいいというのが今回変わったんでしょうか。そうであれば、どういう理由でそうなったのか、お分かりになればと思うんですけども。

教育長職務代理者 学務課長。

学務課長 校長のことについては、学校経営をしていく中で、ある程度、長期的展望を持ってやっていくのがその学校にとってもいいだろうというような考えは県教委の、いろんな場所でそういう話は述べられているかなというふうに思っております。

なかなかそのとおりにならない面も、実情としてはあるのかなと思います。こちらの記載を変更したというのも、そこら辺りを強調するような意味合いがあったのかなとは捉えております。

一方その、教頭のことについては、正直、ころころ教頭が代わるのも困ってしまうと思うので、担当する者とする、校長もある程度長いスパン、教頭もそこまで行かないにしてもある程度、何年かは1つの学校で経験してというふうなことは考えるかと思うんですけど。正直、今、伊藤委員がおっしゃった視点は、なるほどなと感じましたが、そこについての詳しい言及については私も聞いたことはあまりないので、ちょっと分かりかねるところではございます。

伊藤委員 だから何のために変更したのか、その辺のところはちょっとよく意図が分からないような感じがするので。不思議なんです。分かりました。はい、結構です。

教育長職務代理者 ほか、よろしいでしょうか。

(発言の声なし)

教育長職務代理者 ないようでございますので、これをもちまして質疑及び討論は終結といたします。

これより議案第25号を採決いたします。議案第25号については、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長職務代理者 ご異議がないものと認め、議案第25号は原案どおり決定いたしました。説明者が入れ替わります。

(説明員入替え)

◎議案第26号

教育長職務代理者 次に、議案第26号「契約の変更について」を議題といたします。

それでは、ご説明をお願いいたします。

学校施設課長、お願いします。

学校施設課長 議案第26号「契約の変更について」説明いたします。

議案書8ページをお願いいたします。

令和5年松戸市議会9月定例会議案第22号をもって議決された松戸市立相模台小学校校舎増築工事の請負契約を次のとおり変更することについて、令和6年松戸市議会12月定例会に議案として提出するよう市長に申し出るものです。

契約金額は、1、変更前5億6,980万円、2、変更後、6億759万8,200円、3、変更によ

る増額分3,779万8,200円となるものでございます。

また、契約期間を、1、変更前、令和7年1月31日までを、2、変更後、令和7年5月16日までに延長するものです。

提案理由といたしましては、経済情勢の変化による賃金・物価水準の変動（インフレスライド）に対応するため。また、特殊基礎工事の影響による設計変更に伴う増額及び工期が延長となったためでございます。

次のページの参考資料につきましては、1、工事名、松戸市立相模台小学校校舎増築工事。以下、記載のとおりでございます。

この増築工事の経緯につきましては、相模台小学校の児童数増加による教室不足及び給食室の狭隘の解消を目的として、現在、校舎の増築工事に取り組んでいるところでございます。

契約については、令和5年9月23日に契約したところですが、請負業者より、令和6年4月1日に建設工事請負契約書第26条第6項に基づき、請負代金額の変更請求がございましたので、請求日を基準日として松戸市側で積算を行ったところ、請負代金額の増額が確認されました。

また、特殊基礎工事のくい修正設計が必要となり、基礎計上の変更に伴い設計額が増額となったことと、くい工事の完了をもって必要工期が明確になりましたので、契約の変更が必要となったものです。

最後に本件契約変更に伴う予算措置につきましては、令和6年松戸市議会9月定例会におきまして補正予算の議案が可決しております。

以上でございます。

教育長職務代理者 議案第26号については、ただいまの説明のとおりです。

これより質疑及び討論に入ります。

山形委員。

山形委員 山形です。

この工期が延びることによって年度をまたいでしまい、通学する生徒への影響等とかはどうでしょうか。

教育長職務代理者 学校施設課長、お願いします。

学校施設課長 一部外構工事が新年度になりますが、増築校舎部分は新学期から使用できるということになります。児童の安全を十分配慮して、残りの工事を施工するように努めてまいります。

山形委員 よかったです。ありがとうございます。

教育長職務代理者 私から。

特殊基礎工事の影響というところですが、こういった変更と考えたらよろしいですか。

学校施設課長、お願いします。

学校施設課長 まず、特殊基礎ですが、基礎の種類には様々ございまして、建物の重さを直接地面に伝える布基礎、それからベタ基礎、直接基礎と言います。それに対して相模台小学校のようにくいによって地面の深いところの支持層で建物を支えるような方法を特殊基礎と申します。

今回、特殊基礎については、くい工事の試験ぐいを打ったところ、支持層への到達が設計段階よりも深いということで、くいが到達できなかったため、追加の地盤調査、くいの修正設計を行ったといったところになります。

以上でございます。

教育長職務代理者 安定地盤までの距離というのは、やっぱりやってみないと分からなくて、そういう変更というのは当たり前起きることですか。

学校施設課長。

学校施設課長 設計段階で、ある程度ボーリング調査というのはするのですが、やはり、地面の中の下の支持層が必ずしもフラットではないといったところもございまして。いっぱい調査をやれば正確な設計ができるのですが、それはコストがかかりますので、最小限で設計をします。どうしても今回、下の支持層に偏りというか、深さの変動があったため設計変更となったという経緯になります。

以上です。

教育長職務代理者 ありがとうございます。

ちょっと珍しいなと思ったので、すみません。分かりました。

ほか、ございますか。よろしいですか。

(発言の声なし)

教育長職務代理者 ないようですので、これをもちまして質疑及び討論は終結といたします。

これより議案第26号を採決いたします。

議案第26号については、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長職務代理者 ご異議がないものと認め、議案第26号は原案どおり決定いたしました。

説明者が入れ替わります。

(説明員入替え)

◎議案第27号

教育長職務代理者 次に、議案第27号「動産の購入について」を議題といたします。

それでは、ご説明お願いいたします。

学校給食担当室長、お願いします。

学校給食担当室長 よろしくをお願いいたします。

議案第27号「動産の購入について」ご説明させていただきます。

本件につきましては、先ほど話があった議案と関連しておるものでございまして、相模台小学校の給食室の中の備品、「食洗機等」となっておりますけれども、様々な備品についてそっくり中身を入れ替えるようなこととなっております。

これについては金額的に高額なものとなりますので、令和6年度市議会12月定例会の議案として、提出するようになるものでございます。

もともと予算としては議会で承認をしてもらっているものですが、結果として高額な購入になりますので、議案として提案するにあたり、皆様にご審議いただいているところでございます。

1つ目といたしまして、購入物件につきましては、松戸市立相模台小学校給食用の備品ということで、一括りにしておりますが、食洗機、「食器洗浄機等」となっております。

大体50種類程度のものが含まれている、と考えていただければと思います。

2つ目に、契約の方法につきましては、こちらに記載のとおり、一般競争入札において落札しているものでございます。

3番目、購入価格につきましては、8,360万円となっております。消費税込みの金額でございます。

相手先につきましては、4番目、取得の相手方というところで記載しているとおり、株式会社関東三貴となっております。

提案理由といたしましては、前述したとおりでございますけれども、松戸市立相模台小学校の増設工事に伴い、新たに新しい給食室が新設されます。そこに設置される給食用の備品ほ

とんど全てを購入するためとなっております。

1 ページめくっていただきまして、本件入札に関わる参加業者は、こちら記載のとおりでございました。

2 つ目の入札結果といたしましては、最低落札価格が、こちらの金額7,600万円となっております。税込みで8,360万円が今回の議案でございます。

また補足ではございますけれども、こちらは、今、動産の購入という形になってはいますが、今ちょっと法規とも調整しております。財産の取得とか、名前がもしかしたら、こちらから変更になる可能性があります。内容については一切変わらないで、12月市議会に提案するものでございます。

以上でございます。

教育長職務代理者 ありがとうございます。

議案第27号については、ただいまの説明のとおりです。

これより質疑及び討論に入ります。

伊藤委員。

伊藤委員 ちょっと教えてください。今回の購入価格のうち、実際に食洗機だけの価格というのは幾らなのですが、それから、こうした、恐らく非常に大きな食洗機だと思うんですけども、これはほかの学校にも同じようなものが、やはり導入されているのか、それとも今回、非常に新しく、ほかの学校にはないけれども、今回の新しい給食室につくろうとしているのか、その辺のところ、ちょっと教えてください。

教育長職務代理者 学校給食担当室長、お願いいたします。

学校給食担当室長 ご質問、ありがとうございます。

今、お話しいただいた食洗機について、議案では一括してまとめておりますが、食洗器だけの金額で言いますと、約950万円程度、1,000万円行かないかなといったところです。その他のも様々なもの、900万円とか400万円とか、そういった備品が重なった金額となっております。

また、今回導入する食洗機については、大きさも4メートルの長さで、高さも2メートルぐらいの大きなもので、廊下ぐらい大きさでございまして、約1,000食分の食器を洗浄可能なものを予定しております。こういった食洗機につきましては、この学校に限ったものではなく、基本的にはどの学校も大きなものを入れてやらなければ、洗浄が間に合わず、同じような大きさのもので運用させていただいているところでございます。

以上です。

教育長職務代理者 伊藤委員。

伊藤委員 ちょっと完全に誤解してましたが、この8,300万円のうち、その食洗機の値段は950万円ですか。

学校給食担当室長 はい、程度です。

伊藤委員 ほぼ10分の1ということは、それ以外の給食用備品というのが、その残りの8割から9割を占めてるわけですね。

学校給食担当室長 はい。

伊藤委員 ああ、いや、何か、その代表で食洗機が出てるものですから、私は少なくともその食洗機がこの値段の半分ぐらいを占めてるのかなと、少なくともね、というふうに思ったんですが、そうじゃなくて、約1割ぐらいのものですか。

学校給食担当室長 おっしゃるとおりです。

伊藤委員 そうすると、何かこういうふうに議題に上げるのはどうかなと。でも、やっぱり単品としては食洗機が一番大きいんですか。

学校給食担当室長 そうですね。

伊藤委員 ああ。ちょっと何か誤解を招くような。分かりました。

教育長職務代理者 学校給食担当室長、お願いいたします。

学校給食担当室長 議案としては、一番金額の大きい食洗器の他に購入する様々な備品を「等」という形で記載しております。議案に添付する平面図をご覧くださいとお分かりになるかと思いますが、大小さまざま50種類ほどの備品を購入いたしますので、その詳細については議案に添付する資料を内訳として、ご審議いただくものと理解しております。

以上でございます。

伊藤委員 ああ、分かりました。

教育長職務代理者 私も誤解してました。なかなか書き方、難しいので。ご説明いただいてありがとうございました。

ほか、よろしいでしょうか。

山形委員。

山形委員 山形です。

今の説明で、食洗機が1,000万円ぐらいで、あとは多分、業務用の冷蔵庫だとか、そういうものも何百万円単位でいく中で、50種類ぐらい購入されていると思います。

ほかに、もっと細かい物、大きなお玉とか、何か今も使っているようなものは、引っ越し
というか、形で再利用はするものも大半はあるという理解でよかったですでしょうか。

教育長職務代理者 学校給食担当室長、お願いいたします。

学校給食担当室長 今、お話しいただいたとおり、活用できるものはもちろん活用していきたい
と思っております。とは言いましても、もう学校自体も、決して新しいものではなく、そ
れぞれ使っている備品も、基本的にはもう15年以上経っているものが多いかな、という認識
です。

ただ、その中で使える物として予定している物としては、例えば回転釜といった、こんな
大きな釜があるんですけども、そういったもの5基が交換してから比較的日子が浅いもので
すので、既存のものは活用させていただきながら、あと一部の冷蔵庫などを持っていきなが
らといった工夫はさせていただきたいなと思っております。

また、備品として使える物、使えない物はそれぞれ精査して、また栄養士さんと相談しな
がら、細かい部分は決めていきたいなと思っております。

以上でございます。

山形委員 ありがとうございます。

教育長職務代理者 ほか、よろしいですか。

(発言の声なし)

教育長職務代理者 ないようですので、これをもちまして質疑及び討論は終結といたします。

これより議案第27号を採決いたします。

議案第27号については、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

教育長職務代理者 ご異議がないものと認め、議案第27号は原案どおり決定いたしました。

説明者が入れ替わります。少々お待ちください。

(説明員入替え)

◎その他

教育長職務代理者 それではその他に移ります。事務局より何か報告はございますか。

文化財保存活用課補佐、お願いします。

文化財保存活用課補佐 お手元の資料をご覧くださいませでしょうか。

松戸の作家の紹介講座、「あなただけのタタメルバイクをつくってみよう！～タタメルバイクのおもちゃをあなただけのカスタムに～」の開催についてご報告いたします。

令和6年11月9日土曜、13時から、松戸市教育委員会5階会議室を会場に、松戸の作家の紹介講座を開催いたします。16時終了予定で、定員は30名程度を予定しております。

松戸の作家の紹介講座は、松戸市に潜在する多彩な作家、アーティストに焦点を当て、市民が松戸ゆかりの芸術に触れることで本市の文化芸術に対する理解者となっていただくことを目的として開催しております。

今回は、松戸市内のガレージでモビリティ等の開発、製品のデザインを行っている株式会社ICOMAから、代表取締役社長でありデザイナーの生駒崇光氏と、同社執行役員でありデザイナーの田淵寛之氏を講師としてお招きいたします。

株式会社ICOMAは、2021年に設立されたスタートアップ企業で、折り畳みのできる電動バイク、タタメルバイクなど、遊び心や好奇心をくすぐる製品を開発しております。

最近では、メディアからも注目が高まっておりまして、全国のおもちゃ屋さんやカプセルトイ売り場で、12分の1、ICOMA TATAMEL BIKEカプセルトイも発売しております。

講座は2部制となっております。1部は生駒氏がデザイナーを目指したきっかけや、これまでの仕事、松戸市での活動について開発したおもちゃや製品の紹介を交えながらお話をさせていただきます。

第2部は、タタメルバイクのカプセルトイを使ったワークショップを行ってまいります。バイクの開発メンバーと一緒にタタメルバイクをカスタムしてデザインやものづくりを楽しく体験していただくものでございます。

また、18歳以上の方で、運転免許をお持ちの方につきましては、タタメルバイクの実車の試乗も予定しております。

以上、ご報告とさせていただきます。

教育長職務代理者 ありがとうございます。

何かご質問等、ございますか。どうぞ。

伊藤委員 このパンフレットを、以前にも見たんですが、ちょっとある人とも話したんですが、これはどのぐらいの大きさなのかこのパンフレットを見ても分からないんですね。この写真を見ると人が乗ってるので、人が乗れる大きさなのかなと。ただ、何かカプセルトイだとも言って、参加代が500円なんで、そうすると非常に小さな、確かにこの机の上で作れる

ようなおもちゃとも思えるんですが。タタメルバイクそのものには実際に人が乗ってるんで、かなり大きいのかなと思うんですが。

仮にこれに乗ったら道路走れるんですか。免許のこともあるので、勝手につくって市道を走るといのは、そう簡単にできないですよ。その辺のところは一体どうなってるのかなと思ったんですが。もうちょっと親切に、これ言っていただいたほうがありがたいんですけど。

教育長職務代理者 文化財保存活用課補佐、お願いいたします。

文化財保存活用課補佐 今ご質問いただきました実車の大きさですが、畳んだ状態ですと、に使うような、ちょっと大きめのスーツケース程度の大きさになっておりまして、乗る状態にしますと一般的な原付バイクぐらいの大きさになります。

伊藤委員 じゃあこれは本当に、その原付バイクと同じぐらいの大きさなんですね。

文化財保存活用課補佐 はい、そうです。先ほどご質問いただきました免許で公道を走れるかということですが、原付バイクと同じ種類になりますので、ナンバープレートを取得していただければ公道でも乗れるような。

伊藤委員 やっぱりナンバープレートは取得しなきゃいけないんですね。

文化財保存活用課補佐 はい、そうです。

伊藤委員 だから別にそもそもナンバープレートがついてるわけじゃないんですね。

文化財保存活用課補佐 実際に販売されてるものですので、購入された方はナンバープレートを取得して、お乗りになってる方もいらっしゃるということは伺っています。

伊藤委員 カプセルトイ代とありますが、カプセルトイというのは何ですか。

文化財保存活用課補佐 よくおもちゃ売り場といいますかコーナーにお金を入れて、こう。

伊藤委員 カプセルありますよね。

文化財保存活用課補佐 カプセルが出てきます。そのカプセルの中にこれの模型が入っております。

伊藤委員 ああ、やっぱりそういうことですか。

文化財保存活用課補佐 12分の1と先ほど申し上げたのがその大きさの。

伊藤委員 あ、それが12分の1の大きさということですか。

文化財保存活用課補佐 はい。入っております、それを実際に組み立てまして。

伊藤委員 それも組み立てるんですか。

文化財保存活用課補佐 そうです。車を組み立てることでできませんので、カプセルトイを組み

立てて。同じような形で変形していくおもちゃになっておりますので、それを組み立てた上で、今度はそこに色づけをしたり、ご自身の好きなカスタムをして体験していただくというワークショップを開催する予定であります。

伊藤委員 すると表の絵は、ほぼ同じ大きさの乗れるやつの絵ですね、これは。

文化財保存活用課補佐 はい、そうです、はい。裏の絵がカプセルトイになってございます。

伊藤委員 あ、これがカプセルトイなんですか。これがカプセル、その中に入っている。

文化財保存活用課補佐 はい、そうですね。

伊藤委員 ああ。じゃあこれは全くおもちゃということなのですね。

文化財保存活用課補佐 はい、おっしゃるとおりでございます。

教育長職務代理者 よくできてらっしゃる。

伊藤委員 分かりました。

和座委員 試乗というのはどこでやるんですか。

教育長職務代理者 どうぞ、続けて。

文化財保存活用課補佐 試乗は市役所本庁舎の駐車場で行います。実車を試乗していただくよう予定しております。

教育長職務代理者 じゃあ私から。

ちょっとこれ、分かりづらいなと思ったのが、参加無料と大きく書いてありますが、下にカプセルトイ代として500円というのは、高校生以下の人は無料というふうに捉えるべきなのか、あるいはこの試乗会はただですよというイメージだったのか。ちょっとこの辺が説明不足で誤解を招かないかなと心配しております。大丈夫でしょうかね、その辺。まあ、ご応募いただいた方に誤解のないようにご説明いただければと、ちょっと懸念するところがございます。

それと学芸員がいらっしゃるので差し出がましいのですが、松戸は東京高等工芸学校の由来があって、こういう企業製品であるとかそういうデザインという意味では、これから力を入れていかなければいけないジャンルだと思うので、生駒様もご存じかどうかという部分は分かりかねますが、ぜひナビゲーターとして学芸員の方参加されるのであれば、その辺りの松戸のもともとある收藏されてる美術品、あるいは文化財等の話も少し交えて、せっかく来ていただいた方にお伝えいただけたらうれしいなと個人的には思っております。

もしご意見ございましたら。お願いします。

文化財保存活用課主事 お話ありがとうございました。

当日は、学芸員も参加いたしますので、アドバイスのとおり、少しお話を交えさせていただきたいと考えております。現在、応募も多数いただいておりますので、小学生がメインとなっておりますので、子どもにも分かりやすい形で説明させていただければと検討しております。よろしくお願いいたします。

教育長 今の件で1点だけ。当日、私もお挨拶させていただく予定でおりますので。学芸員の立場とはちょっと違った意味で、また松戸の文化芸術について、私のほうからも少し触れたいと思います。

伊藤委員 ちなみにこの、実際に乗れるバイクは、どこかで購入できるんですか。ちなみに大体幾らぐらいの物なのかというのが分かれば。

教育長職務代理者 お願いいたします。

文化財保存活用課補佐 購入先でございますが、直接会社のほうにお申込みいただくようになっております。金額は約50万円ぐらいと伺っております。

以上でございます。

伊藤委員 分かりました。

教育長職務代理者 ありがとうございます。

ほか、よろしいでしょうか。

(発言の声なし)

教育長職務代理者 ありがとうございます。

続きまして、委員の皆様から何かございますか。

山形委員、お願いいたします。

山形委員 山形です。学校訪問をさせていただいたので、簡単にご報告させていただきます。

①小学校を訪問させていただきました。私のほうが私用がありまして、授業の参観しかできていない状態なので、私の主観的な部分があるかと思えます。ご了承ください。

校長室に入りましたところ、とても分かりやすい交通安全マップがありました。もうお店で売っているような素敵なデザインで、PTAの方と地域の方が一緒に作られていることや、以前、交通事故があった地域だったので、そういうところに力を入れているんだと思いました。地域の見守り活動やおやじの会など、積極的に保護者の方、地域の方が参加している様子が掲示されている校長室の様子でした。

また、全体授業を見させていただいた中で、いろいろ感じたことはあったんですけども、その中で、特に今回3年生の英語の授業、言語活用の授業の中で、とても楽しそうにHow is

the weather today?と聞くと、その日は曇りだったのでIt' s cloudy. 話してる様子が、とてもスムーズであり、発語も、今の子というのは、発音がいいような形の活動が見られていて、言語活動の成果を感じられました。

その先生がとても教室を工夫されていて、日常的に、クラスの中でも英語に触れられるような仕組みのことを教室の中で工夫されていました。ジョリーフォニックスを取り入れている部分も、発音や英語活動を楽しむ、もしかしたら保育園や幼稚園でも英語活動をやっている園も増えてきてますので、そういう成果が見られていて、とても楽しそうな授業が見られたというところがありました。

2点目が、市立松戸高校を訪問させていただきました。

多分3年前ぐらいに訪問させていただいたときがテストの前後だったので、割と座っていて授業をしている感じでした。今回は単位制の授業で、校長先生にご配慮いただいて回っていただく、案内していただいたんですけど、生徒が生き生きと学ばれてる姿を見ることができました。

体育の選択は7つ項目があり、柔道を見させていただいたんですけど、柔道部の生徒がその体育のスポーツ選択をしているというところでは、部活動の時間も必要ですけども、それ以外でも授業の中でも部活動に関わっていけるという大きなメリットがあるなと感じました。

また、高校生だからとは思いますが、先生たちが当たり前前に電子黒板を使っていること。小中は黒板を使っている先生はあまり多くない現状です。全部パワーポイントで授業をされているというところも、生徒もそれに慣れてるなというところは見受けられました。当たり前なのかもしれませんが、英語の授業はオールイングリッシュで行われていること。ほかの授業でも、先生たちが専門性が高くて、とても興味関心が子どもに出るような授業展開も、政治、社会の勉強でありました。財政についての話も、とても例えが分かりやすくておもしろい、興味関心を引くような授業をされているなと思いました。

授業の、普通科の英語も見て、国際人文科の英語も見たんですけども、国際人文科の生徒たち、やっぱり英語力が特化しているだけあるなという印象がありました。オーストラリア研修に向けて着つけの授業と、プラスアルファ英語の授業で浴衣の着つけをするような授業の様子もあり、すごく楽しそうだなと思いました。

最後に、先生にかなり授業のスタイルの中で、生徒が主体的に話すシーンが、対話のシーンが多いですねという話をしたところ、課題として、対話して、主体的・対話的で深い学び

という学習指導要領の中にもある中でも、じゃあ対話した後どうなったかというところの成果とかという部分が課題というところまで、深い視座で、校長先生は考えられているというところの話も聞いたのも、とてもよかった機会だと思いました。

最後に中学校のほうを見させていただきました。

そのときに、校長先生の経営説明の中で、幸せで笑顔あふれる学校、安心して授業を受けられる学校という言葉があったのと、全体は落ち着いていますという先生の言ったとおり、本当に全体は落ち着いた雰囲気为学校でした。

ただ、校内学習支援ルームの部分が、教室に入りづらいお子さんがいらっしゃるところなので、急にこういうスーツの人たちがいっぱい見てきたら、硬くなってしまって、申し訳なかったなと思いました。その日だけなのかもしれませんが、結構パーテーションが多くて、何となく緊張させてしまったのもあるかもしれませんが、校内の支援ルームというのは、リビングルームの延長線みたいなところを私は想像していたので、少し硬い感じが、そのときは感じられました。ただ、他校もね、どんなふうに工夫されているのかなというのは見てみたいなというところでした。

まとめで、全体を通して、季節的なものもありますけれども、マスクを使用する生徒が減っているなという印象はありました。マスクをつけること自体は個人の自由や、もしくは体調の部分もあって、アレルギーなどもあって、つけられていることは、全然つけてても大丈夫ですが一時期より減ったなという感じは、やはり感染症への不安感の低下と、学校への安心感というのも増している傾向にあるのかなと思いました。

これは松戸市だけではないとは思いますが、小中学生がタブレットを使うときに、キーボードの使用について、両手で使う子もいますが、片手でポンポンポンみたいな子もまだやっぱり多く感じました。せっかくだったら、特に中学生なんかはキーボードが打てるようなレベルになってもいいのかなと思います。これから市立松戸高校もキーボード付きのタブレットとかPCをもう買っていただくような流れも出てますし、高校生のとときにキーボードが使えるようになっているというのが、もう必須の動きなのかなと思ったので、それをもしくは中学生、小学生でも、できるだけ、タブレットも便利ですけど、手を使っちゃう、スマホを使えるのとパソコンを使えるのは、話が全然違うので、何かその部分で、キーボードやマウスパッドを使うような授業の取組みみたいなものも、中にはあるとは思いますが、そこは日本全体の課題なのかなと感じたりしました。

そして、先生不足というところも、どの場所もそうなんだなというところで課題を感じまし

た。

最後に特別支援について、たまたまその日だけかもしれませんが、集団で行う指導のシーンがありまして、集団で行うことでの効果というの、とてもあるかもしれませんが、特別支援に関しては、集団の中で、誰かが何か活動してるとき、待っているという時間の中で、何かを読み取るかということは、もしかしたらすごく困難さを抱えている可能性もあるかもしれないので、特別支援だけではないですけども、個別最適な学びというところは大切なのかなと思います。

私が、たまたま見た授業もその日の流れだったので、主観的なものですけども、日々先生たちが努力されているところは知ってはいますが、本当に一人一人を大切にするという視点のところで、これからも取り組んでいただけたらなという印象がありましたというところ
です。

以上です。

教育長職務代理者 ご報告ありがとうございます。

ほか、よろしいでしょうか。また順次、学校訪問等の結果で報告いただけるとありがたいと存じます。

中西委員 これ、ちょっと質問していいでしょうか。

何回か前に、広報誌の名前を子どもたちに公募するって話があって、あれってどうなったのかなというのがちょっと気になっているんですが、もう大分たって。ここでそういう呼びかけをしますというのを出されたんであれば、当然その結果、どうなったのかなという、報告あるのかなと思っていたのですが、現状はどうなんですか。

教育長職務代理者 現状についてご報告いただける方はございますか。

生涯学習部長、お願いします。

生涯学習部長 まさに今月、最後の審査委員会が開かれて、そこで決定しますので、来月以降のこの教育委員会議でご報告をさせていただけると思っております。

以上です。

中西委員 分かりました。ちょっと早過ぎました。

教育長職務代理者 ありがとうございます。

ほか、よろしいでしょうか。

(発言の声なし)

教育長職務代理者 本日、予定していた議題は以上です。

それでは、議事進行を教育長にお戻しいたします。

教育長 ありがとうございました。

それでは、次回の教育委員会会議の日程についてでございます。次回の教育委員会会議は、令和6年11月13日水曜日、午前10時より、教育委員会5階会議室にて開催してはいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

教育長 ご異議がないようでございますので、次回、令和6年11月定例教育委員会会議は、令和6年11月13日水曜日、午前10時より、教育委員会5階会議室にて開催いたします。

◎閉 会

教育長 以上をもちまして、令和6年10月定例教育委員会会議を閉会といたします。

どうもありがとうございました。

閉会 午前11時09分

この会議録の記載が真正であることを認め署名する。

松戸市教育委員会教育長

松戸市教育委員会委員